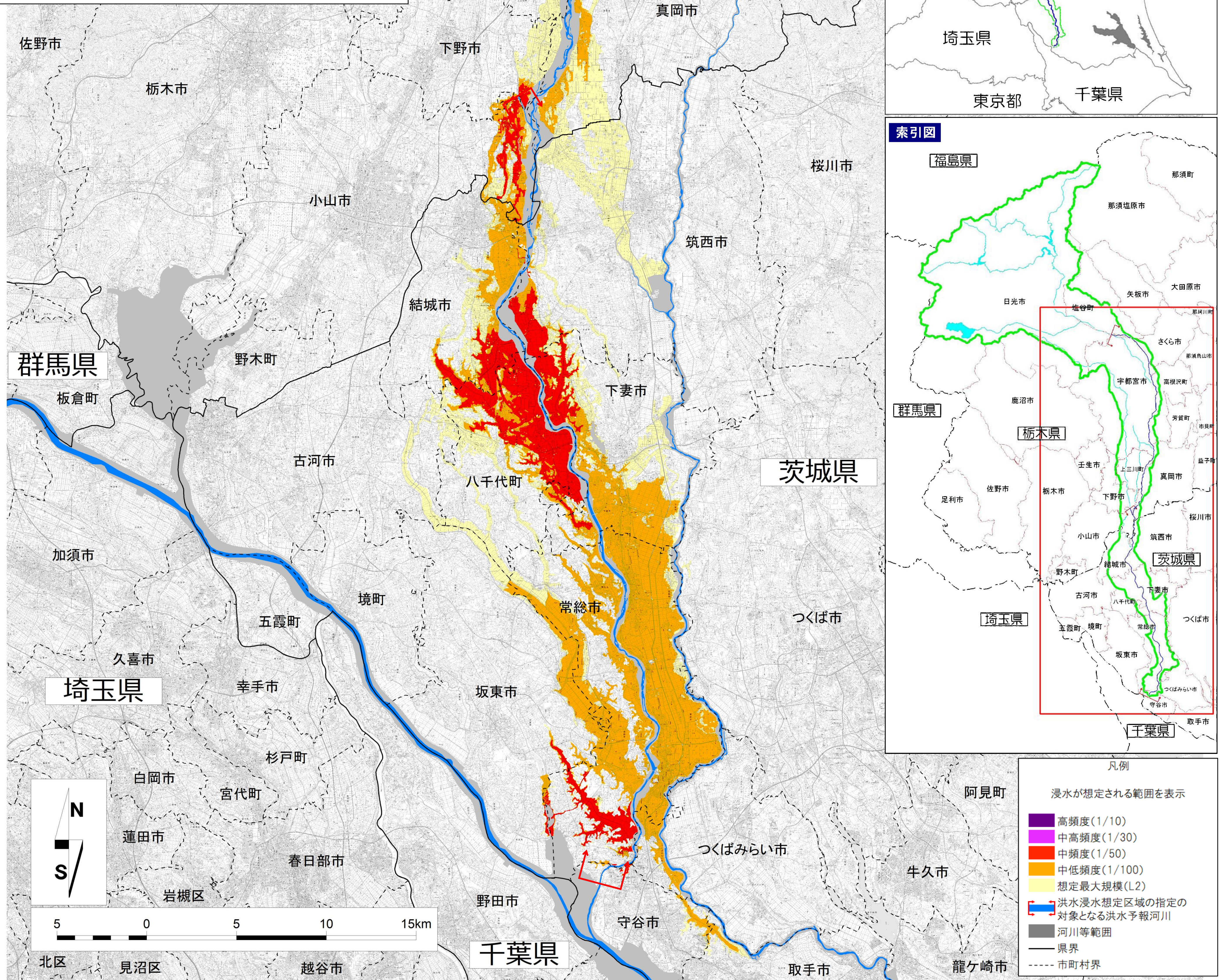


利根川水系鬼怒川
国管理河川からの氾濫を想定した
水害リスクマップ
(0. 00m) 【現況河道】

- 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 $1/10$ 、 $1/30$ 、 $1/50$ 、 $1/100$ の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の鬼怒川、田川放水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 $1/10$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/10$ （10％））、年超過確率 $1/30$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/30$ （3％））、年超過確率 $1/50$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/50$ （2％））、年超過確率 $1/100$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/100$ （1％））の降雨に伴う洪水による鬼怒川、田川放水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和41年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年8月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月31日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
利根川水系鬼怒川、田川放水路
- (3) 実施区間
- ・利根川水系鬼怒川
左岸：栃木県塩都郡塩谷町大字風見1201番16地先から利根川への合流点まで
右岸：栃木県宇都宮市宮田町字カハタ1302番地先から利根川への合流点まで
 - ・利根川水系田川放水路
左岸：田川からの分派点から鬼怒川への合流点まで
右岸：田川からの分派点から鬼怒川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
- ・年超過確率 $1/10$ （鬼怒川、石井上流域の72時間総雨量317mm）
 - ・年超過確率 $1/30$ （鬼怒川、石井上流域の72時間総雨量403mm）
 - ・年超過確率 $1/50$ （鬼怒川、石井上流域の72時間総雨量442mm）
 - ・年超過確率 $1/100$ （鬼怒川、石井上流域の72時間総雨量495mm）
- (5) 河道条件、現況
- (6) 関係市町村
- <茨城県> 河口市、結城市、下妻市、常総市、取手市、つくば市、守谷市、筑西市、坂東市、つくばみらい市、八千代町
- <栃木県> 宇都宮市、小山市、真岡市、矢板市、さくら市、下野市、上三川町、芳賀町、塩谷町、高根沢町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



※ 「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf591」 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない」